付　託　事　件　等　審　査　結　果　報　告

令和　８　年　９　月２４日

薩摩川内市議会産業建設委員会
委員長　　宮　里　兼　実

１　委員会の開催日

９月１１日

２　付託事件及び審査結果

⑴　議案第１３５号　薩摩川内都市計画事業天辰第一地区土地区画整理事業施行条例等の一部を改正する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

⑵　議案第１３７号　令和８年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

⑶　議案第１３８号　令和８年度薩摩川内市天辰第二地区土地区画整理事業特別会計補正予算

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

⑷　請願第　８　号　働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とＩＬＯ三者構成原則の堅持を求める意見書提出についての請願書

本請願は、紹介議員に請願の趣旨について説明を求め、その後、質疑を行い、委員から「休暇中に仕事の電話があれば、労働者も心から休めないという実態があると思うが、実態を把握しているか」との質疑があり、紹介議員から「連合で調査をしており、調査対象の約７割の人が勤務時間外にも関係なく連絡を受けたと回答している」旨答弁があった。

その後、本請願の取扱いについて、採決を求める意見があったことから討論・採決に入った。

討論では、「深刻な人手不足が続く状況下において、時間外労働の一層の制限や勤務間インターバル制度の義務化を進めることは、経営基盤を強く圧迫し、円滑な事業継続や雇用維持そのものを脅かすおそれがあり、まずは、２０１９年施行の働き方改革関連法の定着を見きわめつつ、事業者の自主的な導入を段階的に支援する姿勢をとるべきである。また、個々の職種や働き方のニーズに応じた制度の在り方を阻害するような強い規制姿勢は、将来的な働き方の選択肢を狭め、活力ある経済活動の足かせになりかねず、労働者の健康管理と適切な指導、監督は、企業の事業推進と地方経済の活力のバランスを図りながら、現実的な施策として進められるべきである」という反対討論と、「時間外・休日労働の上限規制の強化、勤務間インターバル制度の義務化、つながらない権利の法制化は、働く人の命と健康を守る上で重要な提案である。また、人手不足が深刻な地域社会においては、長時間労働に頼るのではなく、誰もが安心して働き続けられる職場環境を整えることこそ、

持続可能な地域経済につながる。さらに、労働法制の見直しに当たっては、労働者と使用者の意見を十分に反映させることが不可欠であり、ＩＬＯが重視する政府、労働者、使用者による三者構成原則を堅持し、民主的かつ慎重な合意形成を行うことは当然のことである」という賛成討論がそれぞれ述べられ、採決の結果、起立多数により採択すべきものと決定した。

3　所管事務の調査結果

各課所の事務について所管事務調査を行った。なお、調査の過程において、国際交流センターでは、幼稚園の行事等も開催され、幼児連れの利用者も多いことから、男女を問わず利用できるおむつ交換スペースや交換台の設置などの環境整備に努められたい旨の意見が述べられた。

付　託　事　件　等　審　査　結　果　報　告

令和　８　年　９　月２４日

薩摩川内市議会産業建設委員会
委員長　　宮　里　兼　実

１　委員会の開催日

９月１１日

２　付託事件及び審査結果

⑴　議案第１３６号　令和８年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

本案については、「ＡＩ・ＧＸ推進事業について、第１に事業の具体像と市民への効果が十分に明らかになっていない。第２に大規模データセンターが地域の電力、水環境に及ぼす影響について十分な検証が必要である。第３にＡＩ・ＧＸ推進事業支援業務委託について、何を成果物として求め、その成果をどう評価し、その後、どれほどの市費負担につながるかが十分明確でない」という反対討論が述べられ、採決の結果、起立多数により可決すべきものと決定した。

⑵　議案第１４４号　令和８年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。